

冷水浴びせて厄払い

菅福地区で伝統行事「ほとほと」

その年に厄年を迎えた人の厄を払う伝統行事「ほとほと」が、2月8日、菅福地区で行われまし



家人から冷水を浴びせられ、急いで退散する「ほとほと」役の若者たち

今年と同地区の3軒の家を訪問。外も暗くなつた午後6

半時過ぎ、みのとかさをつけた若者が、神様が扉をたたき音「ほとほと」と言いながらわらで作つたしめ縄や馬を入れたかごを届けました。

縁側に用意されたお酒やご祝儀を、若者が代わりに持ち帰るつとすると、家人が勢いよく冷水を浴びせ1年の幸福を願いました。

今年60歳を迎える西村美恵子さん（福長）は「健康で景気の良い年になつてほしいです」と話していました。

「ほとほと」は厄年を迎えた人の家に厄よけの品物を持って訪問。お礼の品を受け取つて帰る時に厄がつかないように水をかけて、厄払いをする行事で、地域の伝統行事を伝えていこうと、昨年、25年ぶりに復活しました。

復活を呼びかけた西村文作さんは「地域の良き伝統を次代に伝えていきたい」と話していました。



「お疲れ様」冷え切つた体を温泉で温める関係者ら

開かれました。

用意された料理や酒を囲み、「良き伝統を掘り起こし、

若者に伝えていきたい」「これからは、

地域が元氣を出して情報発信をしなくては」などと、こ

れからの地域活動や昔話、趣味の話などについて熱心に

語り合い、盛り上がりつつありました。

もみじ温泉は、安部武男さん（福長）

が経営する急斜地、災害復旧などの法

面保護に用いる型枠を生産する株式

会社フレクシオンフリューム福

長工場の建設地で、ボーリング中にゆう出しました。

三朝温泉など同質の単純放射能温泉で、約30度の温泉

が、1日86℃わき出ています。

泉質は、弱アルカリ泉でラジウムの含有量は三朝温泉の

25倍もあり、神経痛や関節痛、冷え症、健康増進などに効能

があります。

温泉は、同会社員の保養や近所の人たちに利用されたりしています。

行事が終わって

楽しい懇親会

厄払い行事「ほとほと」が無事終わった後、冷水を浴びせられたほとほと役や関係者たちは、もみじ温泉（日野町福長、安部武男さん所有）に入浴し、冷え切つた体を温めました。

その後、厄を迎えた人や地域の人たち関係者ら約40人が参加し、同会場で、慰労会が